

駛馬だより

2026, 9, 1
11号

第28回
はやめカッパ祭り
2026
10.3 土
11:00 - 20:00

最新情報はこちら

今年も諏訪川を200個のランタンが彩ります

今年で28回を迎える「はやめカッパ祭り」の開催に向け、準備を進めています。
諏訪川の水面を彩る200個のランタンをはじめ、楽しいイベントを実施します。
皆様のご来場を心よりお待ちしております！

はやめカッパ祭り公式キャラクター「カッピー」は、駛馬校区まちづくり協議会公式キャラクターとなりました。



これまで「はやめカッパ祭り」のキャラクターとして地域の皆さんに親しまれ、「はやめカッパ食堂」をはじめ、駛馬校区のさまざまな活動でも活躍してきたカッピー。
このたび、8月の駛馬校区まちづくり協議会運営委員会において、「駛馬校区まちづくり協議会公式キャラクター」とすることが承認されました。これからは、校区のマスコットとしてさらに活躍の場を広げ、地域のさまざまな場面で皆さんに笑顔と元気を届けていきます。

はやめカッパ食堂

子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる地域食堂です。

毎月第4土曜日に11時30分から13時まで駛馬地区公民館で開催し、名物のカレーライスを囲みながら、世代を超えた交流を楽しんでいます。

子どもは無料、大人は200円以上の寄付で利用でき、多くのボランティアに支えられています。

「食」を通じて地域のつながりを育み、笑顔あふれる居場所づくりを目指しています。



詳しくはこちら

はやめアンビシャス広場

子どもたちが安心して遊び、交流を深める居場所として、**毎週土曜日の午後1時から開催**しています。**午後3時からはスポーツチャンバラ**を実施。

礼に始まり礼に終わる「小太刀護身道（こだちごしんどう）」を基にした武道スポーツで、安全なエアーソフト剣を使用するため、子どもから大人まで気軽に楽しめます。剣道や空手など他の武道とあわせて取り組む人も多く、礼儀や集中力、判断力を育みながら、楽しく体を動かせる人気のスポーツです。





問い合わせ先：荒木 090-8351-6964

地域包括支援センターって何？

「介護が必要になってから行くところ」と思っていませんか？

実はそれだけではありません。
地域包括支援センターは、高齢者やその家族の困りごとを相談できる"地域の相談窓口"です。
「こんなこと相談していいのかな？」
そんな内容でも大丈夫です。

こんな時はご相談ください

- ✓ 最近物忘れが増えてきた
- ✓ 一人暮らしの親が心配
- ✓ 足腰が弱り買い物が大変
- ✓ 介護保険について知りたい
- ✓ 家族の介護で悩んでいる
- ✓ 認知症かもしれないと心配
- ✓ 近所の高齢者が気になっている
- ✓ 家に閉じこもりがちになった

相談するとどうなるの？

相談内容に応じて、

- **介護保険の利用方法**
- **介護サービスの紹介**
- **医療や福祉との連携**
- **見守りや生活支援**

一人ひとりに合った支援を一緒に考えてくださいます。

少しでも不安なら相談を

高齢になると、困っていても
「まだ何とかなる」
「家族に迷惑をかけたくない」
「相談するほどではない」
と我慢してしまう方が少なくありません。
しかし、早めに相談することで利用できる制度や支援はたくさんあります。
困ってからではなく、**少しでも不安を感じた時が相談するタイミングです。**

地域で安心して暮らすために「ミーティングセンター」をご存じですか？

認知症のご本人やご家族が気軽に参加し、交流や情報交換ができる集いの場です。
決まったプログラムではなく、参加者みんなで話し合いながら、その日にやりたいことを一緒に考えて過ごします。
認知症になっても自分らしく暮らし続けるための居場所として参加されています。

開催日時
毎月第4水曜日　午前10時～

駿馬・勝立地区地域包括支援センター



古賀　あかね
社会福祉士



永江　彩夏
社会福祉士

私たちが駿馬校区を担当しています。
お気軽にご相談ください。

包括支援センター職員さんへ Q&A

Q. 相談するだけでもいいですか？

A. もちろんです。
介護認定を受けていない方でも利用できます。
まずはお気軽にご相談ください。

お気軽にご相談ください

駿馬・勝立地区地域包括支援センター

☎ 0944-41-2020
受付時間
月～金曜日　8:30～17:15
※土日祝日や営業時間以外でもお電話での相談は承っております
相談無料・秘密厳守

『元気出せ大牟田　起（たて）老人パワー』

駿馬校区老人クラブ連合会

会員募集中

今、日本史の大転換期にある。AI、SNS、産業構造の変革は我が国の文化文明を揺さぶり、人々の生きる価値観を大きく変えた。大家族制、核家族、個化社会は地域社会を崩壊し人口減少に歯止めがかからない。全国にまちづくり音頭が鳴り響く。わが郷土大牟田市は悲願の大牟田アリーナを莫大借金で手にしたが、待ったなしの清掃工場、庁舎改築の宿題を抱えたまま立ち往生している。



老人パワーこそ活力資源

38.7%（39,491人）！　超断トツの高齢化率。
テレビの前、病院の待合室の仲間を引っ張り出して元気風を起こしたい。

駿馬の財産“一部橋公園”へ行こう

花壇のそばに収納庫が誕生した。中には清掃用具とグラウンドゴルフ一式が並んでいる。誰でも、いつでもご利用できます。
駿馬校区老人クラブ役員（宮原　松尾　小堺　小野）へご連絡ください。

竹細工でよみがえる昔の玩具



写真は、ストラップ、風車（単、複葉）、ピンピン鯛、ひねり独楽、テパタクロ、鍋敷き、紙トンボ、花てぼ。
この他に、キジ馬、猿弾き、籠（かご）、笊（ざる）など竹細工作品あり。





馬場町公民館では、今年度から館長の古賀さんが講師となり、竹を使った実用品や昔の玩具づくりを始めました。
竹細工や玩具づくりを通して、子どもから高齢者まで、世代を超えて地域の皆さんが集まり、交流できる場所にしたいという思いから始められた活動です。
昔懐かしい玩具を作ったり、本格的な竹細工に挑戦したり、また、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだりと、過ごし方はさまざまです。
「ちょっとのぞいてみようかな」という方も大歓迎。開館中は玄関に赤提灯が掲げられていますので、目印にお立ち寄りください。

町内公民館をみんなが集える場にしたい

「お茶を飲むだけでもいいので、気軽に立ち寄ってください」と聞き、早速のぞいてみると、「三池花てぼ」を教えていただけるとのこと。私も体験してみることにしました。初心者の私は、その日は材料をそろえるだけで時間がかかり、編み方は次回から教えていただく予定です。
私の町内にはこのような場所がないため、会議やお茶会は地域交流施設をお借りしています。しかし、広くて立派な公民館があっても、また違った悩みがあるようです。
維持管理費や将来の管理者確保などの課題から、公民館を処分してはどうかという意見もあるそうです。それでも古賀さんは、「自分が元気な間は、公民館を活用していきたい」と話され、地域の交流の場を守り続けたいという強い思いが伝わってきました。
（広報部長・大道敬子）

開館日：毎週火・木・土曜日
13時半から2時間
お問い合わせ：馬場町公民館
館長　古賀　勉
TEL：090-8626-8478

地域の皆さんが気軽に集い、楽しく交流できる場として、ぜひ馬場町公民館をご利用ください。

地域とともに

この度の令和８年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

日頃より、駿馬校区のまちづくり協議会活動に温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、これからの駿馬校区では、「はやめカッパ祭り」をはじめ、校区大運動会、宮原坑フェスタなど、地域の絆を深めるさまざまな行事を予定しています。こうした行事は、世代を超えた交流を生みだし、地域のつながりを深める貴重な機会となることを目的としていますが、行事の開催には、多くの皆様のご協力が必要となります。準備や当日の運営など、ご負担をお掛けすることもあるかと思いますが、無理のない範囲でお力添えをいただき、皆様とともに笑顔あふれる地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

今後とも、駿馬校区まちづくり協議会への変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



駿馬校区
まちづくり協議会
会長　木田秀樹



今年で４年目を迎えた「駿馬スマホ塾」は、毎回 40 名ほどの皆さんにご参加いただき、楽しく和気あいあいとスマホの学習を行っています。スマートフォンの基本操作から、知っておくと便利なアプリの紹介、大牟田市公式 LINE の活用方法、電子申請の利用方法、二次元コードの読み取り方、生成 AI の体験など、日常生活に役立つ内容をわかりやすく紹介しています。困ったことを気軽に相談できる場でもあり、「参加して良かった」「スマホが楽しくなった」と好評です。



▲ 藤木先生の分かりやすい解説とともに、タイムリーな話題や便利なアプリが紹介され、スタッフの私たちにとっても毎回学びの多い時間となっています。



▲ 塾で学んだ生成 AI を使って、集合写真を「ちびまる子ちゃん風」のイラストに簡単に変えることができます。

この度、駿馬校区まちづくり協議会のホームページを開設いたしました。
地域の情報や活動を、随時発信していますので、ぜひ二次元コードからご覧ください。

駿馬校区まちづくり協議会
公式ホームページ

スマホ塾で学んだことを試してみましょう！

上の二次元コードから、大牟田市公式 LINE の登録ができます。

編集後記

７月28日、熊本県の宇城市や氷川町で震度７を観測した大きな地震が発生し、大牟田市でも震度４の揺れが発生しました。

日頃、ＬＩＮＥスマート通知で届く全国各地の災害情報が、今回は九州に集中しました。信じられないほどの被害状況を目の当たりにし、地震は前触れなく襲ってくるからこそ恐ろしいものだと改めて実感しました。

駿馬スマホ塾では、自分の位置情報の共有方法やＬＩＮＥスマート通知、大牟田市公式ＬＩＮＥ等からの情報収集についての学習も行っていますが、今回は、日頃から情報を得る備えの大切さを改めて実感しました。

駿馬校区では、９月以降も様々な行事を予定していますが、被災地へ送る義援金の募金も行います。当たり前のように準備を進める大人の姿や、元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえてくると、何気ない日常のありがたさを改めて感じます。

一方で、忙しい時ほど心にゆとりを持ち、自分の疲れや周囲の小さな変化に目を向けることも大切です。慌ただしい毎日だからこそホッと一息つける時間を大切にしていきたいものです。

大道　敬子（青葉台公民館長）
上田　由起子（三郎天公民館長）
横田　典子（多々良公民館長）
内田　勉（沖田町・スポーツ推進委員）

編集・発行　駿馬校区まちづくり協議会